

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年3月6日(2014.3.6)

【公開番号】特開2012-168645(P2012-168645A)

【公開日】平成24年9月6日(2012.9.6)

【年通号数】公開・登録公報2012-035

【出願番号】特願2011-27652(P2011-27652)

【国際特許分類】

G 06 F 21/12 (2013.01)

【F I】

G 06 F 9/06 6 6 0 G

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月22日(2014.1.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 6】

図2に示した情報処理装置100は、装置全体が耐タンパ性を有していた。図14に示したように、情報処理装置1100は、NVM1110と、セキュアCPU1120と、ROM1130と、RAM1140と、シリアルI/O1180と、を含んで構成される。情報処理装置1100は、装置全体が耐タンパ性を有するのではなく、セキュアCPU1120のみが耐タンパ性を有している点で図2に示した情報処理装置100と異なっている。このように、CPUを含む一部を耐タンパ機能で保護し、その他の機能との通信及び送受信データを暗号化技術で保護する構成を探ることもできる。また例えば、図2に示した情報処理装置100を、耐タンパ環境を有する場所に設けて、変数の参照や関数の属性を実行させるような構成を探ることもできる。